

手しごとと復興

公開シンポジウム

南山大学人類学研究所

公開シンポジウム 手しごとと復興
2016年1月24日(日) 13:00

- 13:00～13:05 後藤 明 (南山大学人類学研究所)
挨拶
- 13:05～13:15 宮脇 千絵 (南山大学人類学研究所)
趣旨説明
- 13:20～14:00 金谷 美和 (国立民族学博物館)
手工芸生産者の被災と復興
ーインド西部地震被災地の14年間ー
- 14:00～14:40 石本 めぐみ (NPO Women's Eye代表)
女性支援の活動を通して見えてきたこと
ー被災地と手しごとー
- 14:40～15:00 休憩
- 15:00～15:40 濱田 琢司 (南山大学人類学研究所)
震災と民芸/産地
- 15:40～16:20 加藤 幸治 (東北学院大学)
津波常襲地における工芸技術の断絶と継承
ー復興過程の民俗調査からみえてくるものー
- 16:20～16:40 休憩
- 16:40～16:50 サガヤ ラージ・アントニサーミ
コメント (南山大学人類学研究所)
- 16:50～17:00 上羽 陽子 (国立民族学博物館)
コメント
- 17:00～18:00 総合討論
(終了後、懇親会を予定しています)

わたしたちは、日用品から工芸・美術品までさまざまなものをつくり続けています。そのような手しごとが、未曾有の災害に遭ったとき、いかなる影響を受けるのか。長い間受け継がれてきた手しごと、被災地で新たに生まれた手しごと、それらを通じて人びとがいかに復興と向き合っているのかを、長期的なスパンで調査・研究・支援をおこなっている立場からご発表いただきます。そして手芸、民芸、工芸それぞれの生産の場、作り手のネットワークやコミュニティ、つくり出される作品や商品の現状と未来について考えます。



2016年1月24日(日)13:00開始
南山大学 人類学研究所 1F会議室

■南山大学名古屋キャンパス
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩8分
地下鉄鶴舞線「いりなか」駅より徒歩15分

■お問い合わせ先 ⇒ 南山大学人類学研究所
Phone 052-832-3111(代表)
E-mail ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp
HP <http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/JINRUIKEN/>

